

★昭和未来会議

昭和の未来を考える

☆地域課題を共有
↓ (第1回昭和未来会議)

☆理想の未来を共有
↓ (第1回)

☆地域の資源を共有
↓ (第1.2回～以降随時実施)

☆未来に向けた意見交換
↓ (第1.2回)

☆実効策のアイデア出し
↓ (第2回と第3回※今回)

例：多世代、多文化交流促進
地域交流の拠点づくり
魅力の整理とPR
高齢者支援
外国籍住民との交流等

☆アクションの実行計画検討
↓ (第4回以降)

☆検証、次のアクションへ

行政や関係団体と連携

☆行政や関係団体への提言、共に考えること、情報共有したいことについて、随時関係者からの説明・意見交換を。

例：UR、知立東小学校の現状、公民館等の交流拠点、公共交通の方向性等

※その他、既存の行政や関係団体の取組みの情報をはじめ、地域資源の情報共有や地域団体の活動報告を随時実施、参加者の皆さんで共有。

共通の理想の未来

①若者にとって魅力ある昭和に！

・若者の定住・移住が必要！

→まず在住の若者がいきいきと活躍、魅力を感じる昭和に！

→若者の活躍を皆が歓迎・応援する気運も大事！

②皆が安心して暮らす昭和に！

・高齢者も、外国籍住民も、子どもたちも、みんなが共に安心して、いきいきと暮らす昭和に！

☆行政は随時情報交換、情報提供、地域で解決が難しい課題については分野横断的なチームで解決策検討

☆取組に当たっては外部の専門家との交流等も積極的に行うと効果的